



第125号・126号 (昭和45年4月・5月)

目次

学 長 告 辞……………1
 関 係 法 令……………1
 学 内 規 則……………2
 富山大学工学部規則の一部を改正する規則……………2
 富山大学工学部規則の一部を改正する規則……………3
 諸 会 議……………3
 人 事 異 動……………3
 学 内 諸 報……………7
 薬学部長の改選……………7
 教育学部附属学校長の改選……………8
 大学院薬学研究科製薬化学専攻の開設……………8
 名誉教授の称号授与について……………8
 叙位叙勲……………8
 永年勤続者表彰……………9
 外国人教師の着任について……………9
 入学式の中止……………9
 学内の状況……………9
 富山地区R連盟卓球大会……………10
 富山地区R連盟ソフトボール大会……………10
 職 員 消 息……………11
 主 要 日 誌……………12

告 辞

昭和45年4月20日

富山大学長 後 藤 秀 弘

本日ここに父兄および本学教職員多数の御臨席のもとに昭和45年度入学式を挙行いたしますことは、本学の喜びとするところであります。

今回入学を許可された者は、文理学部185名、教育学部163名、経済学部151名、薬学部100名、工学部300名、合計899名と経営短期学部81名であります。

諸君は小学校に始まる学園生活の最後の人間形成の場として難関を突破して入学されたことをお祝い申し上げますと同時に諸君のご父兄もさぞお喜びのことと存じます。

本学は、教職員764名、学生数約3,800名で、富山市五福に、文理学部、教育学部、経済学部、薬学部および教養部と経営短期学部が併設されており、高岡市に工学部があります。各学部とも古い伝統と歴史を有し、長きは80年90

年におよぶ進歩発展の歴史を有し、最近の大学生急増対策上新設された学部は一つもありません。

古き伝統あるものといえば、型にはまり、進歩がないと考えられがちですが、それらの歴史は改革と発展の歴史であります。今後も諸君とともに、大学の改革と発展に努力を続けてまいります。

五福の当地は、当初全学部を統合して、総合大学としての機能を十分に発揮する予定でありましたが、工学部が統合されていない現在でも、すでに敷地が狭隘となり、約10万平方メートルの土地購入を計画して、政府に強く要望しております。実現のあかつきは、図書館の新設、保健管理センターの設置、学生食堂の改築などを計画しております。

工学部は、諸種の事情で統合はしておりますが、敷地は狭隘で、校舎は古く、教育研究の面で非常に不便を感じております。移転新築は焦眉の急務で、実現に努力いたしております。

大学の制度、機構の改革は、全国的に各大学、諸種の機関によって検討され、いろいろの案が出されつつありますが、本学においても制度委員会があって、昨年より検討が続けられております。そして急には不可能かと思われませんが、改たむべきは改ためてゆきます。

大学は、諸君が今まで学ばれた学校のように受身の場ではなく、自主的に勉学して、人間を形成する場であります。自主的に行動することなく、ただ環境に適応するだけで生きて行くなれば、それは動物でもすることであってほんとうの人生ではありません。

諸君は、すでに豊富な知識を有しておられるに違いありませんが、それは、あまり身についた応用の効く知識ではないかもしれないと恐れるのであります。ほんとうに身についた知識——これは単なる知識というよりは知恵と申すべきですが——これは自主的な勉学にあつて、はじめて得られるものであります。

諸君が入学されてただちに当面される教養科目は、理科系の学科から、語学、史学、哲学にいたる文科系の学問まで、数多くのものを学習されなくてはなりません。これらを総合し、消化して自分が応用できる知恵とし、自己の世界観、人生観を創りあげるには、自主的に学び、かつ研究せねばなりません。

さらに進んで専門の学問をそれぞれ学び研究して、豊かな研究者あるいは社会人になられるよう諸君の奮闘を入学式の本日、諸君に期待いたします。以上をもって告辞いたします。

関 係 法 令

(官報掲
載月日)

法 律

国立学校設置法の一部を改正する法律(17)

4.13

国家公務員等の旅費に関する法律の一部を改正する法律 (23)	4.17
所得税法の一部を改正する法律 (36)	4.30
思給法等の一部を改正する法律 (99)	5.26
昭和42年度、昭和43年度及び昭和44年度における旧令による共済組合等からの年金受給者のための特別措置法等の規定による年金の額の改定に関する法律等の一部を改正する法律 (100)	〃
政 令	
国立学校設置法施行令の一部を改正する政令 (41)	4.1
国立大学の大学院に置く研究科の名称及び課程を定める政令の一部を改正する政令 (46)	〃
国立大学の大学院に置く研究科の名称及び課程を定める政令の一部を改正する政令 (58)	4.13
文部省組織令の一部を改正する政令 (84)	4.23
所得税法施行令の一部を改正する政令 (105)	4.30
省 令	
国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令 (文部6)	4.1
国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令 (同7)	〃
義務教育費国庫負担法第2条但書の規定に基き教職員給与費等の国庫負担額の最高限度を定める政令施行規則の一部を改正する省令 (同16)	4.2
国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令 (同8)	4.13
国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令 (同9)	〃
文部省定員規則の一部を改正する省令 (同10)	4.17
文部省設置法施行規則の一部を改正する省令 (同11)	〃
国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令 (同12)	〃
国立大学の大学附置の研究所の研究部門に関する省令の一部を改正する省令 (同13)	〃
国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令 (同14)	〃
国家公務員宿舎法施行規則の一部を改正する省令 (大蔵40)	5.1
規 則	
職員の勤務時間等の基準の一部を改正する規則 (人事院15-1)	4.10
人事院事務総局の組織の一部を改正する規則 (同2-3)	4.20
俸給の調整額の一部を改正する規則 (同9-6)	〃
特殊勤務手当の一部を改正する規則 (同9-30)	〃
俸給の特別調整額の一部を改正する規則	

(同9-17)	4.27
訓 令	
人事に関する権限の委任等に関する規程の一部を改正する訓令の一部を改正する訓令 (文部10)	4.1
文部省債権管理事務取扱規程の一部を改正する訓令 (同11)	〃
文部省所管物品管理事務取扱規程の一部を改正する訓令 (同12)	〃
文部省所管国有財産取扱規程の一部を改正する訓令 (同13)	〃
文部省宿舎事務取扱規程の一部を改正する訓令 (同14)	〃
文部省会計事務取扱規程の一部を改正する訓令 (同15)	〃
国立大学又は国立大学の学部置く分校を定める訓令の一部を改正する訓令 (同16)	〃
国立大学の附属図書館に置く分館を定める訓令の一部を改正する訓令 (同17)	〃
国立大学の事務局等の部及び課に関する訓令の一部を改正する訓令 (同18)	〃
国立高等専門学校事務部の課に関する訓令の一部を改正する訓令 (同19)	〃
文部省定員細則の一部を改正する訓令 (同10)	4.17
人事に関する権限の委任等に関する規程の一部を改正する訓令 (同11)	〃
文部省所轄機関等職員勤務評定実施規程の一部を改正する訓令 (同25)	5.13
文部省所管旅費規則の一部を改正する訓令 (同26)	5.14
文部省発注工事請負等契約規則の一部を改正する訓令 (同27)	

学 内 規 則

富山大学工学部規則の一部改正

富山大学工学部規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和45年5月22日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学工学部規則の一部を改正する規則

富山大学工学部規則 (昭和25年12月15日制定) の一部を次のように改正する。

別表(1)の電気工学科の表の専攻科目中

「法規及び管理2」を「法規及び管理1」に改める。

別表(1)の機械工学科の表の関連科目中

「電子計算機1」を「電子計算機2」に改める。

「化学工学第2」を削る。

附 則

この規則は、昭和45年5月22日から施行し、昭和45年4月1日から適用する。

富山大学工学部規則の一部改正

富山大学工学部規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和45年5月22日

富山大学長 後藤秀弘

富山大学工学部規則の一部を改正する規則

富山大学工学部規則（昭和25年12月15日制定）の一部を次のように改正する。

別表(1)の生産機械工学科の表の関連科目中

「

応用数学	6
------	---

」を「

応用数学第1	4
応用数学第2	2

」に改める。

別表(1)の化学工学科の表の関連科目中

「

応用数学	6
------	---

」を「

応用数学第1	4
応用数学第2	2

」に改める。

附 則

この規則は、昭和45年5月22日から施行し、昭和45年1月1日から適用する。

諸 会 議

第1回評議会（4月1日）

審議事項

1. 教官人事について

2. 昭和45年度富山大学入学者選抜試験合格者の判定について

3. 昭和45年度富山大学経済学部専攻科入学者選抜試験合格者の判定について

4. 学長不在中の代行について

第2回評議会（4月17日）

審議事項

1. 入学式について
2. オリエンテーションについて

第3回評議会（4月20日）

審議事項

1. 入学式当日の学内状況について
2. オリエンテーションについて

第4回評議会（4月24日）

審議事項

1. 学生の除籍について
2. 全学集会（団交）について

第5回評議会（5月1日）

審議事項

1. 全学集会（団交）について
2. 名誉教授の称号授与について

第6回評議会（5月22日）

審議事項

1. 工学部規則の一部を改正する規則の制定について
2. （学士）編入学について
3. 名誉教授の称号授与について
4. 教養部の授業日程について

人 事 異 動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 者
	白 鳥 一	教授（工学部）に採用する	45. 4. 1	文 部 大 臣
	加 川 幸 雄	〃（〃）〃	〃	〃
	脇 功 己	講師（薬学部）〃	〃	富山大学長
	原 田 良 雄	講師（教養部）〃	〃	〃
	岡 本 憲 也	講師（経営短期大学部）〃	〃	富山大学経営短期大学部学長
	森 克 徳	助手（文理学部）〃	〃	富山大学長
	濱 本 伸 治	〃（〃）〃	〃	〃
	森 佳 洋	助手（薬学部）〃	〃	〃
	後 藤 義 明	〃（〃）〃	〃	〃
	森 井 孫 俊	〃（〃）〃	〃	〃
	中 山 法 遂	教諭（教育学部附属中学校）〃	〃	〃

	魚 躬 正 則	〃 (〃) 〃	〃	〃
	島 木 嘉 子	教諭(教育学部附属小学校) 〃	〃	〃
	五百崎 喜 明	事務員(庶務部庶務課) 〃	〃	〃
	吉 野 義 光	技術員(施設課) 〃	〃	〃
	高 橋 義 夫	文部技官(工学部) 〃	〃	〃
	柴 田 利 治	技術員(工学部) 〃	〃	〃
	坪 田 広 信	技能員(工学部電工) 〃	〃	〃
	山 田 正 芳	事務員(附属図書館) 〃	〃	〃
	浜 井 幸 作	用務員(教養部作業員) 〃	〃	〃
	今 井 啓 子	事務補佐員(庶務部庶務課) 〃	〃	〃
	田 中 幾 代	〃 (〃) 〃	〃	〃
	前 田 洋 美	〃 (経理部主計課) 〃	〃	〃
	吉 田 順 子	〃 (附属図書館) 〃	〃	〃
	宮 城 正 子	文部技官(薬学部) 〃	〃	〃
助 教 授 部 (薬 学 部)	吉 井 英 一	教授(薬学部)に昇任させる	〃	文 部 大 臣
講 師 部 (教 育 学 部)	中 田 三 郎	助教授(文理学部) 〃	〃	〃
講 師 部 (教 育 学 部)	田 中 晋	〃 (教育学部) 〃	〃	〃
助 手 (東京大学薬学部)	小 泉 徹	〃 (薬学部) 〃	〃	〃
講 師 部 (教 養 部)	石 田 安 弘	東京医科歯科大学 助教授に昇任させる	〃	〃
助 手 (教 育 学 部)	中 谷 唯 一	講師(教育学部)に昇任させる	〃	富 山 大 学 長
助 手 (工 学 部)	吉 川 和 男	〃 (工学部) 〃	〃	〃
事 務 長 補 佐 (教 育 学 部)	桜 井 雅 楽	文理学部事務長に昇任させる	〃	文 部 大 臣
文 部 事 務 官 (庶 務 部 人 事 課 長)	土 井 盛 治	教育学部事務長補佐に昇任させる	〃	〃
文 部 事 務 官 (工 学 部 会 計 係 長)	竹 岡 環	工学部 〃	〃	〃
文 部 事 務 官 (文 理 学 部)	奥 村 行 夫	学生部厚生課保健係長に昇任させる	〃	富 山 大 学 長
文 部 事 務 官 (薬 学 部)	蔵 北 博	教育学部附属学校係長 〃	〃	〃
教 授 部 (経 済 学 部)	三 国 一 義	金沢大学教育学部教授に配置換する	〃	文 部 大 臣
事 務 長 (経 営 短 期 大 学 部)	酒 井 弘	経済学部事務長に配置換する	〃	〃
事 務 長 (経 済 学 部)	井 波 勝 二	薬学部 〃	〃	〃
事 務 長 (薬 学 部)	泉 田 利 享	工学部 〃	〃	〃
課 長 補 佐 (庶 務 部 庶 務 課)	高 松 平 吉	経営短期大学部 〃	〃	〃
文 部 事 務 官 (文 理 学 部 会 計 係 長)	川 原 富 雄	庶務部庶務課庶務係長に配置換する	〃	富 山 大 学 長
文 部 事 務 官 (経 済 学 部 庶 務 係 長)	伊 東 与 三 次	〃 〃 文書係長 〃	〃	〃
文 部 事 務 官 (工 学 部 庶 務 係 長)	石 野 俱 行	〃 人事課人事係長 〃	〃	〃
文 部 事 務 官 経 理 部 経 理 課 用 度 係 長	沢 崎 成 逸	経理部主計課司計係長 〃	〃	〃
文 部 事 務 官 (経 済 学 部 会 計 係 長)	石 黒 勝 夫	〃 経理課給与係長 〃	〃	〃

文部事務官 (教育学部会計係長)	早崎寛威	〃 〃 用度係長 〃	〃	〃
文部事務官 (薬学部学務係長)	山下寿和	学生部学生課学生係長 〃	〃	〃
文部事務官 (庶務部庶務課長 文書係)	若林良吉	〃 〃 学生会館係長 〃	〃	〃
文部事務官 (学生部厚生課 保健係長)	島倉重二	〃 厚生課厚生係長 〃	〃	〃
文部事務官 (庶務部庶務課長 庶務係)	鎗木隆二	文理学部庶務係長 〃	〃	〃
文部事務官 (経理部経理課長 給与係)	中林邦夫	教育学部会計係長 〃	〃	〃
文部事務官 (学生部学生課 学生係長)	永森俊夫	〃 学務係長 〃	〃	〃
文部事務官 (経理部主計課長 司計係)	加藤昭作	薬学部会計係長 〃	〃	〃
文部事務官 (教育学部学務係長)	船見幸生	〃 学務係長 〃	〃	〃
文部事務官 (教育学部附属学校 係長)	吉田徳正	工学部庶務係長 〃	〃	〃
文部事務官 (薬学部会計係長)	高木行則	〃 会計係長 〃	〃	〃
文部事務官 (庶務部庶務課)	草島幸雄	庶務部人事課に配置換する	〃	〃
文部事務官 (経済学部)	山岸長幸	工学部に配置換する	〃	〃
文部事務官 (経済学部)	高瀬邦弘	庶務部庶務課に配置換する	〃	〃
事務員 (文理学部)	堀口勲	〃 〃 〃	〃	〃
文部事務官 (経理部施設課)	林征紀	経理部経理課 〃	〃	〃
文部事務官 (工学部)	中川巖	〃 〃 〃	〃	〃
文部事務官 (教育学部)	黒田芳雄	学生部厚生課 〃	〃	〃
文部事務官 (附属図書館)	横山正弘	〃 〃 〃	〃	〃
文部事務官 (学生部厚生課)	今江秀男	文理学部に配置換する	〃	〃
文部事務官 (教育学部)	村沢巖	〃 〃	〃	〃
文部事務官 (工学部)	東敏	〃 〃	〃	〃
文部事務官 (庶務部庶務課)	松井博文	教育学部 〃	〃	〃
事務員 (庶務部人事課)	大崎秀雄	〃 〃	〃	〃
文部事務官 (経理部経理課)	堀利秋	〃 〃	〃	〃
文部事務官 (薬学部)	土肥隆三	〃 〃	〃	〃
事務員 (薬学部)	北林恒好	〃 〃	〃	〃
文部事務官 (教育学部)	安部吉孝	経済学部 〃	〃	〃
文部事務官 (教育学部)	金沢不二夫	〃 〃	〃	〃
文部事務官 (経理部経理課)	中田豊昶	薬学部 〃	〃	〃
文部事務官 (学生部厚生課)	林清治	〃 〃	〃	〃
事務員 (薬学部)	地崎昇	工学部 〃	〃	〃
文部事務官 (経済学部)	今井稔	附属図書館 〃	〃	〃

富山工業高等専門学校会計課 総務係長	成瀬正夫	富山大学文理学部会計係長に転任させる	〃	〃
富山工業高等専門学校庶務課 人事係長	小林武	〃 経済学部庶務係長 〃	〃	〃
文部事務官 (経営短期大学部) 総務係長	堀井貞次	〃 〃 会計係長 〃	〃	〃
文部技官 (静岡大学工業) 短期大学部	折田清	〃 薬学部 に転任させる	〃	〃
技 術 員 (岐阜工業高等専 門学校)	本田八郎	〃 工学部 〃	〃	〃
文部事務官 (庶務部人事課)	島田政信	富山工業高等専門学校に出向させる	〃	〃
文部事務官 (教育学部)	奥田真一	〃	〃	〃
文部事務官 (文理学部)	金定良治	大阪大学に出向させる	〃	〃
文部技官 (工学部)	野田豊	名古屋通商産業局に出向させる	〃	〃
文部事務官 (学生部厚生課) 保健係長	安守数雄	富山大学経営短期大学部に出向させる	〃	〃
文部事務官 (経営短期大学部) 総務係長	堀井貞次	富山大学に出向させる	〃	富山大学経営短期大学 部学長
文部事務官 (学生部学生課) 学生会館係長	奥野武則	文部事務官(文理学部)に降任される	〃	富山大学長
文部事務官 (文理学部庶務 係長)	田中栄吉	〃 (附属図書館) 〃	〃	〃
教 学 授 部 (薬 学 部)	永原茂	富山大学薬学部長に併任する 富山大学評議員に併任する (45.4.1~47.3.31)	〃	文部大臣
教 養 授 部 (教 養 部)	梅原隆章	富山大学教養部長に併任する 富山大学評議員に併任する (45.4.1~47.3.31)	〃	〃
教 学 授 部 (薬 学 部)	大浦彦吉	富山大学薬学部附属和漢薬研究施設長に併任 する (45.4.1~47.3.31)	〃	〃
教 育 学 授 部 (教 育 学 部)	林三雄	富山大学教育学部附属小学校長に併任する 富山大学教育学部附属幼稚園長に併任する (45.4.1~47.3.31)	〃	〃
教 育 学 授 部 (教 育 学 部)	黒坂富治	富山大学教育学部附属中学校長に併任する (45.4.1~47.3.31)	〃	〃
教 済 学 授 部 (教 済 学 部)	植村元覚	富山大学評議員に併任する (45.4.1~46.7.31)	〃	〃
教 済 学 授 部 (教 済 学 部)	三国一義	富山大学評議員の併任を解除する	〃	〃
教 学 授 部 (薬 学 部)	三橋監物	富山大学薬学部附属和漢薬研究施設長の併任 を解除する	〃	〃
文部事務官 (庶務部人事課)	草島幸雄	人事係給与主任を命ずる	〃	富山大学長
文部事務官 (経理部主計課)	村井弘	総務係共済組合主任を命ずる	〃	〃
文部事務官 (工学部)	山岸長幸	会計係用度主任を命ずる	〃	〃
文部事務官 (教養部)	山本昭子	学務係厚生主任を命ずる	〃	〃
事 務 員 (庶務部庶務課)	堀口勲	文部事務官に任官させる	〃	〃
事 務 員 (教育学部)	大崎秀雄	〃	〃	〃
事 務 員 (教養部)	高邑英市	〃	〃	〃
事 務 員 (附属図書館)	森井章	〃	〃	〃
事 務 員 (薬学部)	高見春男	〃	〃	〃

技(薬)術学(員部)	佐野明美	文部技官に任官させる	〃	〃
技(工)術学(員部)	麻生俊一	〃	〃	〃
技(工)術学(員部)	柴田幹	〃	〃	〃
事務(附属図書館)長	那智平八郎	休職にする(期間は46.3.31まで)	〃	文部大臣
技(工学)術学(員部)	茶山寛人	復職した	〃	富山大学長
技(工学)術学(員部)	茶山寛人	辞職を承認する	〃	〃
	三日市政司	講師(工学部)に採用する	〃	〃
	森田昌夫	技能員(工学部電工) 〃	〃	〃
	上村令子	事務補佐員(工学部) 〃	〃	〃
	清水清彬	教務補佐員(工学部) 〃	〃	〃
	島浦秋子	事務補佐員(薬学部) 〃	〃	〃
	多賀健治	臨時用務員(教育学部作業員) 〃	〃	〃
	濱本悠子	事務補佐員(薬学部) 〃	45. 4. 8	〃
臨時用務員(教育学部作業員)	田盛一枝	昭和45年4月10日限り退職した	45. 4. 11	〃
〃(教養部作業員)	今村ます子	〃	〃	〃
文部技官(工学部)	酒井アイ	辞職を承認する	45. 4. 15	〃
	大西須美子	文部技官(工学部)に採用する	45. 4. 16	〃
	澤井美津子	事務補佐員(薬学部) 〃	45. 4. 20	〃
	坂林芳雄	技能補佐員(教育学部農夫) 〃	45. 5. 1	〃
助(九州大学理学部)手	鈴木正昭	富山大学文理学部講師に昇任させる	〃	〃
	堀和實	事務補佐員(学生課)に採用する	45. 5. 11	〃
	堀川明路	事務補佐員(文理学部) 〃	〃	〃
	岩瀬チイコ	〃 (〃) 〃	〃	〃
	福島栄進	臨時用務員(経営短期学部作業員) 〃	〃	〃
	示森加代子	技能補佐員(工学部電話交換手) 〃	45. 5. 13	〃
	船木美枝	技能補佐員(庶務部庶務課電話交換手) 〃	45. 5. 15	〃
	竹内憲子	文部技官(文理学部) 〃	45. 5. 16	〃
	中田元男	技術補佐員(経理部主計課) 〃	45. 5. 25	〃
	渡邊茂子	教育学部附属幼稚園助教諭に臨時的に任用する	45. 5. 28	〃
助(薬学)手	松井竹史	辞職を承認する	45. 5. 31	〃

学内諸報

薬学部長の改選

三橋薬学部長の任期が3月31日に満了することにもなう候補者選挙は2月25日に行なわれ、永原茂教授が第5代薬学部長に選ばれ4月1日付けで就任した。

永原教授は昭和15年東京帝国大学理学部物理学科を卒

業、しばらく同研究室にとどまって量子物理学の研究補助の任に当り、同18年名古屋帝国大学助教授、同24年富山大学文理学部助教授、同43年薬学部教授に昇任、富山大学大学院薬学研究科担任、同44年2月富山大学評議員に併任された。

なお、同教授は、昭和35年に学位論文「結合に関する量子的研究」により理学博士の学位を取得している。

薬品製造工学専攻 石川県出身

附属学校長の改選

佐々木附属小学校（幼稚園）長および黒坂附属中学校長の任期が昭和45年3月31日満了するため、教育学部教授会は2月25日に候補者選挙を行ない、次期附属小学校（幼稚園）長に林三雄教授を選出、附属中学校長に黒坂富治教授を再選した。

両教授はそれぞれ4月1日から就任し、任期は2年である。

両教授の略歴は次のとおり。

○林 三 雄

- 昭和15年3月 京城帝国大学法文学部哲学科卒
- ♪ 23年12月 富山師範学校教授
- ♪ 26年3月 富山大学教育学部助教授
- ♪ 43年6月 同 教授

発達心理学担当。富山県魚津市出身。

○黒 坂 富 治

- 昭和11年3月 東京音楽学校甲種師範科卒
- ♪ 18年4月 富山師範学校助教授
- ♪ 25年4月 富山大学教育学部助教授
- ♪ 41年3月 同 教授
- ♪ 44年3月 附属中学校長併任

作曲担当。富山県下新川郡朝日町出身。

大学院薬学研究科製薬化学専攻の開設

かねて大学院薬学研究科に製薬化学専攻（修士課程）増設について上申中のところ認可あり、4月1日より開設された。

これにより薬学研究科は薬学専攻と製薬化学専攻の2専攻となり、入学定員は26名となった。

名誉教授の称号授与について

昭和44年3月辞職された前学長横田嘉衛門氏ならびに昭和45年3月定年退職された前教育学部教授佐々亮氏、前工学部教授横山辰雄氏の3氏に対し、昭和45年5月1日付で富山大学名誉教授の称号が贈られた。



略歴および功績

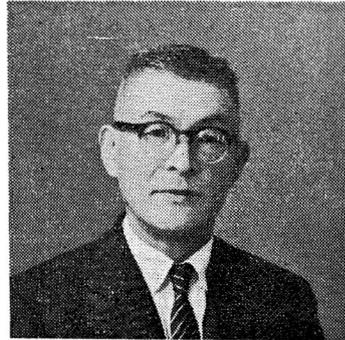
横田嘉右衛門

名 誉 教 授

東京帝国大学医学部薬学科卒業

大正14年10月東京帝国大学助手、昭和8年4月岐阜薬専教授、同12年6月徳島高等工業学校、同19年4月富山薬学専門学校長を歴任、同24年5月富山薬学専門学校は富山大学に包括されるや、同大学薬学部教授、同薬学部長に補さ

れ、引き続きその職を重ね、同36年12月富山大学長となった。以後3選されこの間7年有余富山大学の最高責任者として、学部の五福集中、和漢薬研究施設の新設、薬学部、工学部に大学院修士課程の設置など、本学の管理、運営、整備充実に尽力され、多大の業績を残された。



佐 々 亮
名 誉 教 授

東京高等師範学校体育科卒業

昭和4年3月栃木県立真岡中学校教諭として就任、それ以降同県立宇都宮中学校教諭、石川県立金沢第一中学校教諭を歴任、同16年12月富山師範学校教諭、同18年1月富山師範学校教授、同24年5月富山大学の発足とともに同大学教授となり、昭和45年3月定年退職されるまでの28カ年余、終始熱心に学生の教育、指導ならびに体育の振興に尽瘁されたばかりでなく、本学評議員を昭和32年6月から同44年5月まで6期、建築委員会委員3期、補導協議会委員2期、認定講習委員会委員6期の他体育関係各委員会委員を、また、本学教養部の設置にあたり教養部設立準備委員会委員、ついで教養部運営協議会委員として本学の管理・運営に多大の業績を残された。



横 山 辰 雄
名 誉 教 授

東京帝国大学工学部応用化学科卒業

昭和16年満州国国務院大陸科学院研究官兼新京大学教授、同25年4月高岡工業専門学校講師兼富山大学教授として着任以来同45年3月定年退職されるまでの20年間、教授としての直接的な教育・研究の他に昭和27年1月から2年間本学評議員、同28年12月から同34年12月まで工学部長、さらに同42年6月から2年間評議員として、本学の管理・運営に、また工学部の建物の改築、設備の充実などに多大の業績を残された。

叙 位 叙 勲

教育学部教授 故一法師頼忠
従四位勲五等瑞宝章を授ける

昭和45年3月31日 内閣

永年勤続者表彰

本学永年勤続者表彰式は、5月30日午前10時から本部会議室において挙行され、次の勤続35年4名、勤続20年32名の職員に対し学長からそれぞれ表彰状ならびに記念品が贈呈された。

○勤続35年

学生部 森田 弘 文理学部 毛利 勉
教育学部 小沢慎一郎 教育学部 永森清太郎

○勤続20年

庶部部 伊東与三次 経理部 高見 茂義
学生部 高崎 公文 学生部 島倉 重二
〃 藤田 正義 文理学部 中川 正之
文理学部 田中専一郎 〃 川瀬 義之
教育学部 吉田 博 教育学部 白川 郁子
〃 畠山 和子 〃 小林 太市
経済学部 大谷 明夫 経済学部 岩渕 富治
〃 森田美喜子 薬学部 志甫 伝逸
薬学部 大浦 彦吉 〃 小川 君子
工学部 浅岡 忠知 工学部 斉藤 仁代
〃 嶋尾 一郎 〃 岡田 粂二
〃 泉田 利享 〃 山本喜太郎
〃 中村 恵二 〃 石崎 平三
〃 神島 弥省 教養部 黒田 信吉
教養部 酒井 正保 附属図書館 多賀政信
附属図書館 高倉弘一 〃 斉藤 隆

外国人教師の着任について

文理学部文学科ドイツ文学研究室では、授業の充実をはかるため、かねてから関係方面へドイツ人教師の推せん方を依頼中のところ、さきほど文部省の承認を得て、ヴォルフガング ウィルヘルム氏に5月1日付け富山大学外国人教師を委嘱し、過日本学に着任された。

ヴォルフガング ウィルヘルム氏は、ドイツ連邦共和国(西ドイツ)ハンブルクに国籍をもち、1941年生れ28才ハンブルク大学、エルランゲン(ニュルンベルク)大学およびチュービンゲン大学において、哲学、神学、文化教育学等を専攻、本年4月チュービンゲン大学において、近代の碩学故エドゥアルト シェプラングー教授の後任講座担当者、現代ドイツ教育学において著名なオットー フリードリッヒボルノー教授のもとで哲学博士の学位試験に合格した。

本学には少くとも2カ年間に在任し、ドイツ文学専攻学生を対象に会話、独作文、ドイツ文学講義を週10時間、教養部の一部学生に会話週2時間担当される。

入学式の中 止

昭和45年度入学式は、各学部新入生 899名、経営短期大学部新入生81名を迎えて4月20日黒田講堂で行なわれることになった。

しかし、本学は経済学部、教養部が無期限スト中であり、全共闘系学生自治会の大衆団交要求、入学式粉碎の動きは予断を許さない状況にあったため、評議会、大学問題対策本部会議などで、その対策を検討した。当日は、9時から大衆団交を黒田講堂で要求している関係などから、場合によっては統一入学式をとりやめることもあり得るとの結論に達した。

4月20日当日は、午前8時頃から、全共闘系の学生40～50名が黒田講堂前で、入学式粉碎、大衆団交貫徹の全学総決起集会を開催し、デモなど行なって氣勢をあげ、学生の数も徐々にふえる状況にあったので、混乱をさけて入学式を中止し、各学部で行なうことになった。

新入生には、8時30分頃から正門付近で受け付けを開始し、各学部へ誘導、各学部で、統一入学式ができなかったため、学長の告辞文その他必要書類を新入生に手渡したし、学部長のあいさつなどがあって終わった。

学 内 の 状 況

—学生動きを中心として—

3月につづいて学園は平穏でなく、4月1日教養部学生大会は、安保粉碎、沖縄、三里塚闘争勝利などの政治問題とともに、紛争報告書問題、大学臨時措置法、中教審答申粉碎、自衛官受験問題などを掲げて、無期限ストの決議を行ない、経済学部の無期限ストとともに教養部もストに入った。その後、教育学部を除く各学部も学生大会を開いて、スト決議の賛否を問うも、流会あるいは過半数の賛成が得られないままストに入ることが出来なかったが、遂に5月8日、文理学部理学科は学生大会を開き、教養部と同じようなスローガンで無期限ストに突入した。このように学生の動きは流動的で、平静に授業が行なわれる状態にはなっていない。

新入生を迎えて4月20日の入学式は、全共闘系学生による妨害で遂に入学式を行なうことができず、各学部分散で行なわざるを得なかった。

こうした状況の中で、教養部自治会執行部など学寮を含む全共闘系6者から、「紛争報告書提出について」、「自衛官受験について」、「経済学部人事問題について」、の3つの問題について学長、評議会に対し大衆団交の要求があり、検討した結果、これをうけ入れることになり予備折衝がもたれた。

全学集会(団交)は、4月27日13時すぎから、学生、教職員約1,000名が見まもる中で、学長、評議員が出席して開かれ、議長団は会共闘系学生でしめられ、そのペースで進められ、全学休講措置がとられなかったことなどの追及があり、15時頃より本題の紛争報告書問題が討議された。17時前いったん休憩し、その後の大学臨時措置法についての是非がかわされ、20時30分頃次回の全学集会(団交)を約して解散した。

第2回目全学集会(団交)は、5月19日13時30分から、学生、教職員約700名が出席して前回と同じように開かれたが、一部学部長、事務局長、学生部次長が出席していないということで、団交開催の意味がないとして、学生側は一方的に追及団交に切り換え、紛争報告書などについて追及があったが、16時35分、次回を5月28日頃開きたいと要求して終了した。しかし、5月28日に全学集会(団交)はもたれず、全共闘系学生は、団交拒否だんがい集会を開いただけで終わった。

教養部は新入生を迎えて、一日も早く授業開始の策を検討しながら、学生の自宅待機などをできるだけさけるため、カリキュラムなどについてのいろいろな説明会、研究室の訪問、学部講演会などを開き、また、教授会は「教養部学生諸君へ」と題する文書を全教養部学生に配布し、一日も早く授業の再開を望んだ。新入生も早く授業を受けたいという希望が強く、その結果、5月20日に学生大会がもたれ、過半数の賛成を得てストが解除され、5月22日から授業が開始された。

一方、6月22日の日米安保条約固定期限切れの日をめざして、全共闘系学生は安保粉砕を叫んで、全学総決起集会などの政治集会が、日ましにはげしくなり、一方民青系学生との衝突から内ゲバによる、傷害事件がしばしば起きあがり、学内は不穏な状態となった。

学長は、これら暴力行為を警告する告示(別掲)を学内に掲示し、厳に慎しむよう注意を喚起した。しかしながら5月27日には、白屋学内で学生2名が暴行をうけ、2週間の打撲症をうけるに及んで、遂に5月29日、傷害事件として、警察官の立入り実地検証が行なわれるにいたった。

このように、学内は、6月安保改定期を控えて、不穏な状態が続いており、またこの間にあって、文理学部長の辞任などがあり、学内の管理体制の強化、学生に対する積極的な施策が強く望まれる状態である。

昭和45年5月12日

告 示

富山大学長 後藤 秀弘

大学が本来研究と教育の場であることは、今さらいうまでもない。しかるに昨今、学内外において学生による暴力、傷害行為が行なわれているやに聞くことはまことに遺憾であり、この種の行為は、理性の府たる大学としてとうてい容認しがたい。この際学園の平静と秩序を回復するため、いっさいの暴力行為を厳につつしむよう警告する。

昭和45年5月30日

告 示

富山大学長 後藤 秀弘

さきにいっさいの暴力行為をつつしむよう厳に警告したにもかかわらず、その後も依然として一部学生の暴力的行動は続けられ、ついに傷害事件として警察の関与さえ招くに至ったことは、きわめて遺憾というほかない。今後、学園の生活をおびやかすいっさいの暴力的行為に対しては、さらにいっそう厳重適切な措置をとらざるをえないことを、ここに重ねて警告する。

なお、この際、学園内において覆面し、ヘルメットを着用するなど、およそ学問と教育の場に無用、不似合な服装はいっさい身につけないよう通告する。

富山地区R連盟卓球大会

実施年月日 昭和45年4月11日(土)

場 所 不二越体育館

参加機関 7機関(9チーム)

入 賞 優勝 検 察 庁

次勝 営林署C

三勝 富山大学

三勝 法 務 局

富山地区R連盟ソフトボール大会

実施年月日 昭和45年5月20日(水)、21日(木)

場 所 不二越球場

参加機関 14機関(16チーム)

入 賞 優勝 刑 務 所

次勝 富山大学A

三勝 富山高専

三勝 公益事業

文部教官一法師頼忠教授逝去

教育学部教授一法師頼忠氏は、狭心症のため、3月31日自宅において逝去されました。

先生は、昭和14年3月九州帝国大学農学部を卒業、同年4月大日本製糖株式会社入社、同19年2月九州帝国大学農学部農学第一研究室において研究に従事、同年5月同大学農学部副手として勤務、同22年文部教官3級に叙せられ、同23年11月富山青年師範学校教授、同24年6月富山大学助教授を経て、同45年3月教授に昇任今日に至った。

本学在職中、富山大学原子力同位元素委員会委員、同放射同位元素委員会委員等をつとめ、また、その専門とする農業とくに作物学に関連する研究には特筆すべきものが多く、日本作物学会北陸支部評議員、日本畜産学会北陸支部富山県分会副会長として北陸地区の農業・畜産振興に貢献するところ大なるものがあつた。昭和45年3月31日付従四位、勲五等に叙せられ、瑞宝章を授与せられた。

57才、大分県出身。

職 員 消 息

<新任者>

庶務部庶務課

事務員 五百崎喜明
事務補佐員 今井 啓子
〃 田中 幾代
技能補佐員 船木 美枝

経理部主計課

事務補佐員 前田 洋美
技術補佐員 中田 元男

施設課

技術員 吉野 義光

学生部学生課

事務補佐員 堀 和実

文理学部

講師 鈴木 正昭
助手 森 克徳
〃 濱本 伸治

文部技官 竹内 憲子
事務補佐員 堀川 明路
〃 岩瀬チイコ

教育学部

教 諭 島木 嘉子
〃 魚躬 正則
〃 中山 法遂
助教諭 渡邊 茂子

技能補佐員 坂林 芳雄
臨時用務員 多賀 健治

薬学部

講 師 脇 功己
助 手 森 佳洋
〃 後藤 義明

〃 森井 孫俊
文部技官 宮城 正子
事務補佐員 島浦 秋子
〃 濱本 悠子

〃 澤井美津子

工学部

教 授 白鳥 一
〃 加川 幸雄

講 師 三日市政司
文部技官 高橋 義夫
〃 大西須美子
技術員 柴田 利治
技能員 坪田 広信
〃 森田 昌夫
事務補佐員 上村 令子
教務補佐員 清水 清彬
技能補佐員 示森加代子

教養部

講 師 原田 良雄
用務員 浜井 幸作

附属図書館

事務員 山田 正芳
事務補佐員 吉田 順子

経営短期大学部

講 師 岡本 憲也

臨時用務員 福島 栄進

<改 姓>

薬学部

文部技官 脇 浩子(旧姓・池田)

教養部

事務補佐員 増田 信子(旧姓・東田)

<住所変更>

庶務部

人事課長 木村 寿作

文部事務官 草島 幸雄

経理部

文部事務官 沢崎 成逸

〃 森 慶二

〃 山本 道弘

施設課

事務補佐員 山本 順子

学生部

学生課長 住友 衛

文理学部

助 手 渡辺 義之

〃 増田恭次郎

文部事務官 今江 秀男
教育学部
 助 教 授 中川 眸
 〃 中村 剛
 講 師 新福 祐子
 助 手 竹内 茂弥
 〃 穴山 疆
 文 部 技 官 角井与志雄
 文部事務官 土肥 隆三
薬学部
 教 授 渡辺 和夫
 〃 難波 恒雄
 助 教 授 北川 泰司
 〃 日合 奨
 講 師 竹口 紀晃
 〃 脇 功己
 助 手 的場 勝英
 〃 岡村 昭治
 〃 棚田 成紀
 文 部 技 官 脇 浩子
 文部事務官 平野 茂良
工学部
 教 授 田中 久弥
 〃 原 健一
 助 手 女川 博義
 事務補佐員 女川マリ子
教養部
 教 授 柿岡 時正
 〃 藤田 賢治

〃 平田 一郎
 助 教 授 間庭 充幸
 〃 宇尾野逸作
 〃 奥貫晴弘
 〃 有沢 一男
 講 師 畠 脩三
 事務補佐員 増田 信子

附属図書館

文部事務官 角井 舞子
 〃 平野 一美

経営短期大学部

講 師 高橋 敏朗
 〃 珠玖 拓治

主 要 日 誌

本 部

- 4月1日 第1回評議会
- 2日 昭和45年度入学合格発表
学寮補導委員会
- 3日 大学問題対策本部会議
- 6日 公務員宿舎委員会
- 15日 昭和45年度富山大学薬学部・工学部大学院入学式
大学問題対策本部会議
- 16日 補導協議会と学寮補導委員会との合同会議
- 17日 補導協議会
第2回評議会
- 20日 各学部毎分散入学式
第3回評議会
- 21日 大学問題対策本部会議
- 24日 第4回評議会
公務員宿舎委員会
大学問題対策本部会議
- 25日 大学問題対策本部会議
- 27日 全学集会(団交)
- 28日 大学問題対策本部会議
- 5月1日 第5回評議会

- 計算センター運営委員会
7日 補導協議会と学寮補導委員会との合同会議
11日 大学問題対策本部会議
計算センター運営委員会
13日 大学問題対策本部会議
富山大学名誉教授称号記授与式
14日 補導協議会と学寮補導委員会との合同会議
19日 全学集会(団交)
20日 富山大学科学教育研究室入室式
21日 補導協議会と学寮補導委員会との合同会議
22日 第6回評議会
大学問題対策本部会議
28日 補導協議会
大学問題対策本部会議
30日 富山大学永年勤続者表彰式

文 理 学 部

- 4月1日 教授会
2日 人事教授会
13日 数学選考委員会
15日 教授会・人事教授会
16日 理学科教官会議
22日 教授会
24日 新入学生に対する学部オリエンテーション及び健康診断
25日 教授会(緊急)
5月6日 理学科教官会議
7日 X線間接撮影
8日 午後2時から理学科学生大会が開かれ同9時40分頃賛成61、反対26保留22で無期限スト決議
9日 学部対策委員会
11日 教授会(緊急)
12日 教授会(緊急)前日に引続き開催
13日 教授会
15日 学部集会(理科学・学友会との団交)
16日 昭和44年度後学期授業終了(理学科3年次)
18日 文理学部長候補者選挙管理委員会

教 育 学 部

- 4月1日 教務・補導合同委員会、教授会
3日 教務委員会
4日 附属小学校始業式
6日 附属小学校入学式 附属中学校始業式
7日 附属中学校入学式 附属幼稚園始業式
10日 教育実習委員会 特別教職課程委員会
附属幼稚園入園式
13日 教務委員会
14日 職業補導委員会 昭和44年度後期授業終了

- 15日 教授会
17日 予算委員会
20日 学部入学式 昭和45年度前期授業開始
22日 教務委員会 教授会
24日 学部オリエンテーション 学生健康診断
25日 教授会(緊急)
5月1日 人事教授会
6日 教務委員会 教授会 X線間接撮影
7日 将来計画委員会
12日 教育実習打合せ会
14日・15日 全国国立大学教育学部長会議(於・神戸大学)
15日 附属小学校研究発表会
15日・16日 日教協北陸地区第2部会技術科研究協議会
18日 教授会(緊急)
20日 教務委員会 教授会 人事教授会
22日・23日 日教協北陸地区評議員会(於・新潟大学)
25日 補導委員会
26日 附属小学校遠足
27日 予算委員会 教授会

経 済 学 部

- 4月1日 第1回教授会 第1回教務委員会
8日 第2回教務委員会
15日 第2回教授会 第3回教務委員会
23日 第4回教務委員会
24日 新入学生健康診断
5月6日 第3回教授会 第5回教務委員会
13日 第4回教授会
16日 第5回教授会

薬 学 部

- 4月1日 教授会
8日 教授会 人事教授会 研究科委員会
14日 学部図書委員会
15日 教授会
18日 教授会
22日 教授会
24日 学部オリエンテーション
25日 教授会
30日 共同利用研究施設設置管理運営委員会
5月6日 教授会 人事教授会
8日 健康診断実施
9日 昭和45年度日本薬学会北陸支部春季例会
11日 学部職業補導委員会
12日 和漢研施設運営委員会 図書委員会

- 13日 教授会
- 21日 教務委員会
- 21～23日 全国学部長会議（於・東北大学）
- 25日 薬学研究科委員会
- 27日 教授会 人事教授会
- 30日 学部補導委員会

工 学 部

- 4月1日 一般教授会
- 6日 2年次学生授業開始
- 13日 教務委員会 一般教授会
- 14日 4年次学生授業開始
- 15日 研究科委員会 専任教授会
- 18日 一般教授会
- 24日 新入学生オリエンテーション並びに健康診断
X線マイクロアナライザー設立準備委員会
- 25日 一般教授会
- 28日 教職員懇談会
- 30日 教養部学生に対する講演
- 5月6日 一般教授会 専任教授会 研究科委員会
- 13日 機械工学科新入生懇談会
- 14日 人事院上級公務員試験説明会
- 15日 専任教授会 教務委員会
- 16日 一般教授会
- 18日 3年次学生授業開始
- 20日 学生教職員定期健康診断（X線間接撮影）
寮補導委員会 工学部将来計画委員会
- 26日 学生定期健康診断（一般検診）
- 27日 X線マイクロアナライザー運営準備委員会
工学部将来計画委員会

教 養 部

- 4月2日 無期限学生ストライキに入る 教授会
学生委員会
- 8日 図書委員会 教授会
- 10日 教授のみの教授会
- 14日 教務委員会
- 15日 教授会
- 16日 教授会
- 18日 教授会
- 20日 教授会
- 21日 教授会
- 22日 教授会
- 23日 オリエンテーション、教授会
- 27日 教授会
- 30日 学部講演会 教授会 学生委員会、報道委員会
合同会議
- 5月6日 教授会 討論集会

- 9日 教授会
- 14日 教授会
- 18日 説明集会
- 20日 教授会 学生大会で無期限ストライキ解除決議
- 21日 教授会 教授のみの教授会
- 22日 前期授業開始
- 26日 教務委員会
- 27日 教授会

附 属 図 書 館

- 4月4日 増加図書目録発刊
- 8日 図書館職員研修会
- 15日 図書館職員研修会
- 16日 事務打合会
- 21日 図書館商議会
- 22日 図書館利用オリエンテーション
- 5月1日 事務打合会
- 2日 県立図書館との交歓野球試合
- 6日 図書館職員研修会
- 7日 富山県図書館協会定期総会
- 12日・13日 第20回北信地区図書館協議会（於・福井大学）
- 20日 図書館職員研修会 事務打合会
- 27日 図書館職員研修会

経 営 短 期 大 学 部

- 4月13日 第1回教授会 入学生歓迎会
- 14日 オリエンテーション 授業開始
- 20日 入学式
- 5月7日 授業料減免委員会 第2回教授会
- 8日 第3回教授会
- 20日 定期健康診断
- 21日 第4回教授会
- 28日 第5回教授会

編 集

富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190

印 刷 所

中央印刷株式会社
富山市下奥井28
電話 ☎ 6572（代）